

令和元年度

教 育 委 員 会  
教育行政点検・評価  
報 告 書

令和2年8月

大月市教育委員会

## 1 点検評価の趣旨

平成19年6月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正（平成20年4月施行）され、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

この法律改正を受け、大月市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

## 2 点検・評価の対象

令和元年度に実施した教育委員会事務について、「教育委員会の活動及び管理・執行する事務」に関して14項目、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について、平成27年度に策定された「大月市第2期教育振興基本計画」等に基づき「学校教育の充実」に関して6項目（12小項目）、「生涯学習の充実」に関して6項目（13小項目）を点検・評価項目に選定し、評価対象としました。

## 3 点検・評価の実施方法

### （1）評価の観点

評価基準に基づきその達成状況の観点から評価を行いました。

### （2）評価の主体及び方法

教育行政点検・評価のシートにより、教育委員会事務局から提出された評価資料に基づき、大月市教育委員会としての点検・評価を行いました。

## ○大月市教育委員会教育行政点検・評価に対する概要

評価 A・・・達成している (100%) B・・・ほぼ達成している (約80%)  
 C・・・概ね達成している (約60%) D・・・達成していない (50%以下)

大項目	中項目	小項目	評価	
			当年度	前年度
1 教育委員会の活動及び管理・執行する事務	(1) 教育委員会の会議の運営改善	教育委員会会議の開催回数	A	A
	(2) 教育委員会と事務局との連携	教育委員会と事務局との連携	A	A
	(3) 教育委員会と首長の連携	教育委員会と首長との意見交換会の実施	A	A
	(4) 教育委員の自己研鑽	研修会への参加状況	A	A
	(5) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	学校訪問	A	A
	(6) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること		A	A
	(7) 教育委員会規則及び規定を制定し、又は改廃すること		A	A
	(8) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		A	A
	(9) 教育委員会の所管に属する学校その他教育機関を設置、または廃止すること		A	
	(10) 教育委員会及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること		A	A
	(11) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること		A	A
	(12) 教科用図書採択の決定に関すること		A	A
	(13) 通学区域を設定し、又は変更すること			
	(14) 文化財を指定し、又は指定を解除すること			A

大項目	中項目	小項目	評価		
			当年度	前年度	
2 教育委員会が管理・執行を教育長に委任す	1 学校教育の充実	① 確かな学力の向上	(a) 確かな学力の育成	B	B
		② 豊かな心・たくましい心の充実	(a) 道徳・文化活動、読書活動等の推進	A	A
			(b) ふるさと教育の推進	A	A
		③ 健やかな身体の育成	(a) 健康の保持増進と体力の向上	A	A
			(b) 食育・学校給食の充実	A	A
		④ 今日の課題やニーズに応じた教育の推進	(a) 国際理解・情報教育の推進	A	A
			(b) 特別支援教育の充実	A	A
			(c) 教育相談体制・就学支援の充実	A	A
		⑤ 学校教育施設の整備充実	(a) 安全・快適な学校施設への改善	A	A

る 事 務		(b) 学校の適正配置と適正規模の確保と通学バスシステムの充実	A	A	
		(c) 閉校跡地等の活用	B	B	
		⑥ 幼児期における教育の充実	(a) 私立幼稚園運営への支援	B	B
	2 生涯学習の充実	① 地域全体で取り組む教育力の向上	(a) 家庭・地域と一体となった学校の活性化	B	B
			(b) 家庭の教育力の向上	B	B
			(c) 指導者・団体・グループの育成	B	B
			(d) 放課後・休日における子ども活動の充実	A	A
		② 公民館活動の充実	(a) 生涯学習活動の推進	B	B
			(b) 生涯教育施設の整備・充実	B	B
		③ 多様な学習機会の提供	(a) ニーズに対応した学習機会の提供	B	B
(b) 図書館運営の充実			A	A	
④ 文化芸術活動の振興		(a) 文化芸術活動への支援	B	B	
⑤ 生涯スポーツの振興		(a) スポーツ・レクリエーション活動の充実と支援	B	B	
		(b) 施設の整備	C	C	
⑥ 歴史と文化遺産の継承		(a) 文化財の保存・保護及び活用	A	A	
		(b) 伝統行事の保存と継承支援	B	B	

# 1. 教育委員会の活動及び管理・執行する事務

評価 A・・・達成している (100%) B・・・ほぼ達成している (約80%)  
 C・・・概ね達成している (約60%) D・・・達成していない (50%以下)

中項目	小項目	内容	評価	
			当年度	前年度
(1) 教育委員会の会議の運営改善	教育委員会会議の開催回数	定例会12回 臨時会1回開催した。	A	A
(2) 教育委員会と事務局との連携	教育委員会と事務局との連携	日常的に情報交換を行い円滑な教育行政の執行に心がけた。	A	A
(3) 教育委員会と首長の連携	教育委員会と首長との意見交換会の実施	4月に総合教育会議を開催し、大月市学校教育の指針について意見交換を実施した。	A	A
(4) 教育委員の自己研鑽	研修会への参加状況	県や北都留、関東甲信越静地区の研修会に参加した(年7回参加)。また、市教委独自の研修活動として「山梨県立やまびこ支援学校」の視察を行った。	A	A
(5) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	学校訪問	5月に3日間、市内小中学校7校、給食センター、教育支援センター及び社会教育施設3か所を訪問した。また、11月に3日間、市内小中学校7校を訪問し懇談した。	A	A
(6) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること		大月市第2期教育振興基本計画を策定し、実施5年目である。	A	A
(7) 教育委員会規則及び規定を制定し、又は改廃すること		以下の条例等を改正した。 大月市英語検定料助成金交付要綱、大月市学校図書館職員設置費補助金交付要綱の一部を改正する告示、大月市教育支援室設置要綱の一部を改正する訓令、大月市外1市2村ICT教育支援員共同配置実施に関する覚書・細則、大月市社会教育指導員の設置等に関する規則の一部を改正する規則、大月市青少年育成カウンセラー設置規則の一部を改正する規則、大月市社会体育指導員の設置等に関する規則の一部を改正する規則	A	A
(8) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		提出議案については、全て審議を行った。予算編成については、予算査定の段階でその都度、説明を行った。	A	A

(9) 教育委員会の所管に属する学校その他教育機関を設置、または廃止すること	旧強瀬小学校の一部を「大月市教育支援センター」として平成31年4月に開設した。	A	
(10) 教育委員会及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	退職教員の豊富な経験と知識を活用するため、教育支援室職員や社会教育指導員に任命した。市担講師及び社会教育関係賃金職員については、ほぼ必要とする人員の確保ができた。	A	A
(11) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること	令和2年4月の人事異動に関する内申を実行し、加配措置や市内出身者の管理職の登用に努力した。	A	A
(12) 教科用図書採択の決定に関すること	小学校の全教科の教科書採択を実施した。	A	A
(13) 通学区域を設定し、又は変更すること	当年度は、該当案件なし。		
(14) 文化財を指定し、又は指定を解除すること	当年度は、該当案件なし。		A

## 2. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価	A・・・達成している (100%)	B・・・ほぼ達成している (約80%)
	C・・・概ね達成している (約60%)	D・・・達成していない (50%以下)

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	① 確かな学力の向上	当年度	B
小項目	(a) 確かな学力の育成	前年度	B
目標及び方策	小・中学校において、学校ごとの教育目標・研究主題を掲げ、子どもの「生きる力」の育成に向けた教育課程の編成に取り組み、その実践において工夫や改善を行う。また、教育委員会においては、学校における授業づくりの支援や学習環境の整備等を行い、学校教育の振興に努める。		
評価の詳細(実施内容)	<p>令和元年度全国学力・学習状況調査(国語、算数・数学)は、小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された。結果は、小学校、中学校共に県平均に対し同等または若干低かった。この学力調査は、生活環境の調査結果を併せてホームページにおいて公表した。</p> <p>山梨県学力把握調査(国語、数学、英語)は、山梨県教育委員会が県内の中学校の2年生を対象に実施する調査で、結果は県平均と同等または若干下回った。</p> <p>学力向上フォローアップ事業「大月サマースクール」は、夏季休業中を活用して、子どもたちの補習的な学習支援を行うことで、学ぶ楽しさや分かる喜びを味わせ、基礎学力の定着と学習意欲の向上を図ることを目的とした事業であり、教員OBや市担講師、並びに大学生が指導者となり実施した。対象者は小学3年生から中学2年生で、小学3年生391名、4年生381名、5年生375名、6年生278名、中学1年生192名、2年生133名の延べ1,750名が参加し、希望者に対する出席率は、80.0%であった。実施にあたり、参加者が自らの課題を持ち、計画的に学習活動をするように保護者にも働きかけた。</p> <p>「大月っ子楽習サロン」を児童生徒の放課後における補習学習における支援として、通年を通して実施した。対象者は小学3年生から中学3年生で参加児童生徒延べ人数は2,842名であった。また、昨年度同様「チャレンジ大月っ子」として家事労働・家庭学習を意欲的に行う取組みを各小中学校で実施した。</p>		
今後の方向性	「大月サマースクール」や「大月っ子楽習サロン」を継続実施し、児童生徒の学力向上につなげていく。		

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	②豊かな心・たくましい心の充実	当年度	A
小項目	(a) 道徳・文化活動、読書活動等の推進	前年度	A
目標及び方策	道徳教育・文化活動の充実を図り、教育活動全般を通じた取り組みや家庭・地域との連携に努める。また、豊かな感性や情操を育むために、体験活動を重視するとともに、文化、芸術に触れる機会を多くつくる。		
評価の詳細(実施内容)	音楽会に対する交通費補助、芸術鑑賞会、総合的な学習の時間などに補助を行った。また、読書活動については、学校図書館活動の充実と、各校での全校一斉読書時間の設定などに取り組んだ。令和元年度も、小中学校及びやまびこ支援学校と合同で音楽発表会を実施し、学校間で交流することができた。		
今後の方向性	「いのち」を大切にすることを基盤にした教育の推進に努めるとともに、豊かな心を育む道徳教育の充実を図る。		
			2

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	②豊かな心・たくましい心の充実	当年度	A
小項目	(b) ふるさと教育の推進	前年度	A
目標及び方策	地域の歴史・伝統・文化・産業・自然等について、地域の方々とふれあいを通して学び、郷土を大切にすることを育成に努める。		
評価の詳細(実施内容)	<p>新転入教職員を対象に地域素材の発掘を促すため「地域研修会」を実施し、「大月市内の戦争遺跡」について研修した。また、小中学生が地域を見つめ、地域を愛する心を持つ機会として「私の好きなところフォト展」を開催した。また、市内各校における学校応援団活動の情報交換を活性化するために、「学校応援団コーディネーター情報交換会」を開催し、初狩小学校のコミュニティスクールについて事例発表後、各校の状況等情報交換した。</p> <p>教育支援室と校長会、教頭会、教育会等の教育関係者で「教育支援連携会議」を組織し、教育に関する情報交換を行い、小中学校との連携及び教育支援活動の充実を図った。</p> <p>平成30年度から初狩小学校へ学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールを運営している。</p> <p>ふるさと教育の一環として、夏休みを利用し、小中高校生による英語体験活動を実施し、外国の方々と英語を通してのコミュニケーション能力の育成に努めた。</p>		
今後の方向性	各種事業を通して、「ふるさと教育」の推進を進める。		
			3

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	③健やかな身体の育成	当年度	A
小項目	(a) 健康の保持増進と体力の向上	前年度	A
目標及び方策	<p>学校では、一学期の定期健康診断の結果をもとに、市や各学校の健康課題を見つけ、課題の解決に向けての取り組みを行っています。</p> <p>体力テスト等により児童・生徒の体力の現状を把握し、効果的に体力を向上させるための健康体力づくり一校一実践運動を推進する。</p>		
評価の詳細(実施内容)	<p>体力の向上については、一校一実践運動を推進しており、令和元年度実施の体力テストにおける総合得点は、全国平均に対し小中学校共に、若干低い結果となった。各学校においては、養護教諭を中心に健康教育の充実に努めた。また、市内小中学校の陸上記録会の実施に際しては、交通費補助などを行った。</p>		
今後の方向性	<p>学習指導要領における小・中学校の体育・保健体育の授業を通して、スポーツに親しむ習慣や意欲、能力の育成、体力の向上を図る。</p>		
			4

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	③健やかな身体の育成	当年度	A
小項目	(b) 食育・学校給食の充実	前年度	A
目標及び方策	<p>朝食を食べない子どもが増えているなど、家庭での食事が健全なかたちで維持できなくなってきたり、状況や軽食の増加により、児童・生徒の「食」に係る環境が著しく低下しており、肥満や痩身傾向など、子どもたちの食生活や健康を取り巻く問題が深刻化している。学校給食は子どもたちの心身の健全な発達に資し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける上で大きな役割を担っている。また、食文化の継承や自然の恵みの大切さなどを理解することも重要である。食に関する指導や学校・家庭等との連携、供給体制の充実、地域食材を活用した学校給食を通して食育の推進に努める。</p>		
評価の詳細(実施内容)	<p>学校給食では、学校給食センターの栄養教職員2名が調理方法や味付けなどを工夫した献立に努めた。また、毎月献立予定表と併せて給食だよりに給食目標や食育ニュースを掲載し学校及び全保護者に配布した。ドライシステムの調理場で徹底した衛生管理を行い小学校5校・中学校2校の児童生徒と教職員等に安全で栄養バランスのとれた給食を年間187日、延べ259,349食提供した。(3月4日から春休み前日の25日まで、新型コロナウイルス感染症防止対策に伴う学校臨時休校により、給食も休止となった。)</p> <p>栄養教職員が計画的に学校訪問を実施し、児童生徒と給食を共にしながら食の大切さや重要性を伝えるとともに箸の使い方などの指導も行った。各学校でのPTAによる学校給食試食会や学習会に出向き、学校給食の目的や食全般について説明し、保護者からの食の相談に対応した。また、児童生徒が食に関心を持つきっかけとなるように、献立に旬の食材や郷土料理、季節に合わせた行事食等を積極的に取り入れ、児童生徒からの希望献立による給食を提供するなど工夫した。</p> <p>食物アレルギーアンケートを実施し、栄養教職員、学校長、養護教諭、学校給食主任、学級担任等とアレルギーを持つ児童生徒の保護者が、医師記載の学校生活管理指導表を基に面談して対応を決定し、食物アレルギー除去食を提供した。</p> <p>地産地消として地元の食材も納入可能なものについては積極的に使用した。</p> <p>平成31年度から学校給食センター業務の一部(調理及び配送業務)を民間に委託した。献立や食材の選定・発注、調理指示や味付けは、これまで通り栄養教職員が行っており、毎月1回定例会を開催し、委託業者と調理及び配送、付随する業務について確認するとともに情報を共有し、安心して安全な給食の実施に努めた。また、学校給食に必要な施設設備の修繕等維持管理を行った。</p>		
今後の方向性	食育・学校給食の充実に努める。		
			5

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	④今日的課題やニーズに応じた教育の推進	当年度	A
小項目	(a) 国際理解・情報教育の推進	前年度	A
目標及び方策	国際平和教育やボランティア活動（災害支援や学用品を送る活動）を行うなど国際理解を深めること。「情報活用能力」を身に付ける。		
評価の詳細（実施内容）	<p>国際理解教育において、外国語指導助手を民間事業者との委託契約により小学校に2名、市が直接雇用した講師を中学校に1名配置した。学校から「授業の教材など工夫されており、熱心に研究されていると感じる」、「指導する上でも先生方とのコミュニケーションをとりやすいと感じる」など高評価を得ている。</p> <p>令和2年度完全実施となる小学校の外国語科については、授業時数が小学3年と4年が年間15時間から35時間、小学5年と6年が年間50時間から70時間となるため、令和2年度から外国語指導助手を2名から3名配置に1名増員するため準備を進めた。また、新学習指導要領では「情報活用能力」が言語能力などと同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられたため、各学校のICT環境整備を計画的に進めている。小学校においては、プログラミング教育が必修化されるなど、今後の学習活動において、積極的にICTを活用することが想定されるため、教材の開発や授業における教員の補助などを行うICT教育支援員を1名、大月市・上野原市・小菅村・丹波山村の2市2村の広域連携事業として共同配置を実施するため準備を行った。</p>		
今後の方向性	小学校の英語教育の教科化に伴うAET等の拡充、ICT化の推進を図る。		
			6

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	④今日的課題やニーズに応じた教育の推進	当年度	A
小項目	(b) 特別支援教育の充実	前年度	A
目標及び方策	各学校の特別支援学級においては、障害の重度・重複化や多様化が進んでいる。保護者への相談、指導体制を充実させ、適正な就学を支援していく。		
評価の詳細（実施内容）	<p>就学前に適正な就学先の選択を保護者とともにに行い、総合教育センターの活用と併せて、一人ひとりの状態に応じた教育が受けられるよう支援に努めた。</p> <p>県教育委員会へ特別支援教育1クラスに対する教員の配置基準について見直しを要請した。また、特別支援教育のため、市担講師16名を配置した。</p>		
今後の方向性	適正な就学先の選択ができるよう、相談、指導体制の充実を図る。		
			7

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	④今日的課題やニーズに応じた教育の推進	当年度	A
小項目	(c) 教育相談体制・就学支援の充実	前年度	A
目標及び方策	不登校の率は増加傾向にあります。不登校児童・生徒への相談活動及び適応指導を通して、心の居場所を保障しながら不登校児童・生徒の自立（再登校）を目指し、また、いじめの早期発見・早期対応の徹底を図る。		
評価の詳細 (実施内容)	令和元年度の教育支援室への相談件数等は185件(前年度366件) 「スクールカウンセラー」が市内2中学校及び3小学校に配置された。連絡会議やケース会議等を開催し、不登校の児童生徒とカウンセラーとの関係が強く築かれたことで、学校に復帰できた児童生徒が増え、また、不登校になりかけた児童生徒が不登校にならずにすんだ。配置されている学校において、スクールカウンセラーは、カウンセリングの専門性を発揮しており、今後においても配置を強く希望している。市内の小中の不登校児童生徒を対象とし、彼らの居場所の提供、ならびに、学習や体験をとおし、集団生活への適応指導と学力補充の支援をする施設として、旧強瀬小学校の一部を「大月市教育支援センター」として1名の指導員を配置し、平成31年4月に開設した。 就学児の適正な教育支援のため、総合教育センター・学校・市保健介護課（発達障害者支援体制強化事業）との連携を図り、幼稚園・保育園(所)の年中・年長幼児の訪問観察相談を実施するなかで適正就学支援の充実に努めた。		
今後の方向性	個々の児童・生徒、家庭の状況に応じた支援体制の強化・充実及び早期の対応に努める。		
			8

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	⑤学校教育施設の整備充実	当年度	A
小項目	(a) 安全・快適な学校施設への改善	前年度	A
目標及び方策	学校施設の改修等を計画的に進め、児童・生徒の安全で快適な教育環境の整備に努める。		
評価の詳細 (実施内容)	山梨県教育委員会では、令和2年4月から県下統一したシステムとして、統合型校務支援システムの一斉導入を目指しており、本市もこのシステムに参加するため、必要となるハード・ソフト面の環境整備に取り組み、令和2年4月1日から稼働させた。このシステム導入により、教務（成績処理、出欠管理）、保健（健康診断）、学籍（指導要録）等の校務について業務改善と作業効率化が期待でき、負担軽減となった時間は、生徒に寄り添う時間等の創出につながっている。その他、体育館の照明（水銀灯）の交換やトイレ排水管のつまり等学校施設の良好な環境維持に努めた。		
今後の方向性	引き続き、安全で快適な教育環境の構築を目指す。		
			9

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	⑤学校教育施設の整備充実	当年度	A
小項目	(b) 学校の適正配置と適正規模の確保と通学バスシステムの充実	前年度	A
目標及び方策	<p>小中学校の適正配置を進める中で、適正規模を確保し、多様な人間関係の中での児童生徒の良い意味での競争心や社会性の育成を図る。また、一定規模を要する集団活動や学校行事の充実、教職員の確保を図っていく。</p> <p>通学システムについては、原則として、現在のバス路線の運行経路を使用して、小学校にはスクールバス、中学校には、路線バスで対応している。通学バスと併せて、市民の交通手段も含めたバス交通の最善な方法を継続的に考えていく。</p> <p>また、児童生徒が安全に安心して通学できるよう、保護者・学校・バス事業者等と協議を行いながら、バスの乗降場所や通学路の安全確保に努める。</p>		
評価の詳細(実施内容)	通学バスについて、保護者、学校及び関係機関と協議を行い、運行時間等について決定した。		
今後の方向性	引き続き、児童生徒の登下校の安全確保を図る。		
			10

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	⑤学校教育施設の整備充実	当年度	B
小項目	(c) 閉校跡地等の活用	前年度	B
目標及び方策	学校跡地・施設の利活用について基本的な考え方及び方向性について検討し、利用転換が早期に図られるように努める。		
評価の詳細(実施内容)	<p>令和元年度末に山梨県設置の適応指導教室「都留こすもす教室」が閉室となることから、市内の小中の不登校児童生徒を対象とし、彼らの居場所の提供、並びに、学習や体験を通し、集団生活への適応指導と学力補充の支援をする施設として、旧強瀬小学校の一部を「大月市教育支援センター」として設置した。また、建物の一部を特定非営利活動法人で子供（高校生）の健全育成を図る活動をする「フリースクール・オンリーワン」に貸し出すことで、官民連携・小中高連携による多様な学習活動及び集団活動が期待できる自立支援につながる場として整備した。その他閉校学校についても、施設利用申出者からの要請に応じ、適宜施設の貸出を行った。</p>		
今後の方向性	跡地活用について、協議に柔軟に対応できるよう、跡地に係る現状と課題を整理し、適宜対応していく。		
			11

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	⑥幼児期における教育の充実	当年度	B
小項目	(a) 私立幼稚園運営への支援	前年度	B
目標及び方策	幼児教育の充実のため、私立幼稚園への支援を行う。		
評価の詳細(実施内容)	市内の私立幼稚園3園に対し、1園28万円の運営補助金を交付した。また、幼稚園就園奨励費補助事業については、平成27年度から施設型給付に移行したため、市内幼稚園に通う対象世帯はなくなった。		
今後の方向性	幼児期における教育は、生涯にわたる学習活動を継続していく基礎となるため、連携や支援を推進する。		
			12

大項目	2. 生涯学習の充実	評 価	
中項目	①地域全体で取り組む教育力の向上	当年度	B
小項目	(a) 家庭・地域と一体となった学校の活性化	前年度	B
目標及び方策	地域の方々の参画を得て、放課後・休日等において子どもたちが地域の中で、安全・安心して様々な活動を行う場づくりを推進し、地域全体で支援する体制づくりに努める。		
評価の詳細(実施内容)	公民館単位の支部で青少年育成推進員を中心に育成会の役員、見守りボランティアなど地域の青少年育成関係者が集まり支部会議を開催し、育成会など地域の行事について情報共有を図った。 また、青少年育成大月市民会議による市内小中学校訪問を行うことで地域の子どもに関する課題について、学校と情報共有を図った。併せて、学校に市民会議の活動を周知した。		
今後の方向性	地域の子どもをみんなで育てていくという意識を大切に、家庭・地域・学校が情報共有し連携を図り、地域全体で教育に取り組む。		
			13

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	①地域全体で取り組む教育力の向上	当年度	B
小項目	(b) 家庭の教育力の向上	前年度	B
目標及び方策	家庭の教育力の向上に向けた支援の充実を図る。		
評価の詳細 (実施内容)	<p>青少年育成大月市民会議運営委員、推進委員、育成会役員等を構成員とする支部会議を開催し地域の子どものための課題について、情報交換を行った。</p> <p>図書館においては絵本を通して親子の触れ合いを推奨するため、ボランティアによる読み聞かせの会や9か月児健診時にブックスタート事業を実施した。</p> <p>社会教育担当では、夏休み等子ども体験教室「わいわい道中」を実施し、勤労青年センターを拠点に野草教室、工作、おやつ作り体験などを行い普段学校では勉強できない体験や他校の児童と交流する場を設けた。また、親子体験教室では、万華鏡作りに取り組み親子のふれあいを深めた。</p> <p>地区公民館においては、親子で参加できる事業や地域全体の触れ合いができる事業の開催を継続して呼びかけており、親子ふれあい軽スポーツ大会や町民文化祭、スポーツ教室、ふれあい夏祭りなどが開催されている。</p>		
今後の方向性	親子で学習や体験できる各種事業を実施し、家庭教育の支援の充実を図る。		
			14

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	①地域全体で取り組む教育力の向上	当年度	B
小項目	(c) 指導者・団体・グループの育成	前年度	B
目標及び方策	地域の優れた人材を活用し、「いつでも・どこでも・だれでも」楽しく有意義な学習ができるように指導者の確保及び活用を行う。		
評価の詳細 (実施内容)	<p>ふるさと教育の推進を図るため、広く人材の発掘・育成を目的として、ふるさと大月教育人材バンクを設置し、平成26年度から運用を開始した。社会教育委員会、公民館連絡協議会・主事会議、放課後子供教室、放課後学童クラブ等の場において広報や市内小中学校へ資料配布等行った。人材バンクの職業生活分類に1名の登録があった。</p>		
今後の方向性	学習活動や地域活動の充実を推進するため、地域の優れた人材の発掘や活用を図る。		
			15

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	①地域全体で取り組む教育力の向上	当年度	A
小項目	(d) 放課後・休日における子ども活動の充実	前年度	A
目標及び方策	放課後の子どもの安全で健やかな居場所づくりを進めるため地域の各種団体などの協力を得ながら体験・交流活動を進める。		
評価の詳細(実施内容)	安全安心な活動拠点を設け、子どもたちが遊びながら楽しく学べることを目的とした、放課後子ども総合プランの推進を図った。また、子ども情報誌「ゆりっ子」に放課後子ども総合プランを掲載し、活動の周知を図った。 夏休み等子ども体験教室「わいわい道中」を実施し、市内小学校4年から6年の児童が、野草教室、画用紙を使った工作教室、おやつ作り体験などを行う中で他校児童との交流を図った。		
今後の方向性	地域の方々の参画を得て、地域の自然に親しむ活動など、幅広い活動や活動内容の充実を図る。		
			16

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	②公民館活動の充実	当年度	B
小項目	(a) 生涯学習活動の推進	前年度	B
目標及び方策	学びの充実を図り、学び得た成果を地域社会に還元できるシステムの構築や各地区公民館間の連携と交流を図り、生涯学習の推進に取り組む。		
評価の詳細(実施内容)	昨年と同様、地区公民館を中心に生涯学習をテーマとした講座や教室の充実を図り、地域の活性化づくりに取り組むとともに、各地区公民館の実績報告をまとめ公民館長・主事会議において公民館間の情報共有に務めた。 学習機会の情報を公開するため、市のホームページに生涯学習情報の掲載と更新作業を行った。 第58回大月市生涯学習推進大会は、大月の良さや課題を大月と繋がっている方々と共に発見し、学習することによって、地域に愛着を持ち、今後のまちづくりへの活用を目指し、【見つめ直そう！地域の力 ～呼び込もう！多様な視点～】を大会テーマとして開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となった。		
今後の方向性	情報の共有、発信を図り、生涯学習の課題やニーズについて連携して研究・学習を行い生涯学習の推進に取り組む。		
			17

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	②公民館活動の充実	当年度	B
小項目	(b)生涯教育施設の整備・充実	前年度	B
目標及び方策	社会教育施設の老朽化に対する対策を検討し、市民に利用しやすいあり方を検討する。		
評価の詳細(実施内容)	施設の延命化を図るため、計画的に修繕箇所の優先順位を定め対応している。中央公民館においては、地下A重油貯蔵タンク内面FRPライニング修繕他7件の不具合箇所の修繕を行った。地区公民館では瀬戸公民館雨漏りのため天井内装及び屋根修繕他8件の修繕を行った。地区公民館分館施設の補修に対し、2件の補助金の交付を行った。		
今後の方向性	今後も施設の延命化を図り、優先順位を定め対応し、市民が利用しやすい施設となるよう整備を図る。		
			18

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	③多様な学習機会の提供	当年度	B
小項目	(a)ニーズに対応した学習機会の提供	前年度	B
目標及び方策	市民の学習ニーズの把握に努め、地域間や世代間の交流が図れる学習機会の充実を推進する。		
評価の詳細(実施内容)	多様化する学習ニーズの内容把握を行うとともに、ニーズに対応した学習機会の提供に取り組んだ。地区公民館では、健康志向がより高まるなか、歩け歩け大会や親子でふれあう軽スポーツ大会、町民文化祭などが行われた。また、高齢者学級等では生活習慣病予防講座や大月警察署交通課による交通安全教室など、時代の要請に則した身近な課題をテーマにした講座等を開催した。		
今後の方向性	社会の動向やニーズに対応した講座等の開催。少子化、高齢化が進む中、世代間が交流し、生き生きと暮らすための学習機会の充実を図る。		
			19

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	③多様な学習機会の提供	当年度	A
小項目	(b) 図書館運営の充実	前年度	A
目標及び方策	市民の多様なライフスタイル、考え方に対応できる様々な資料や情報を収集、提供し、図書館活動の充実を図り、誰もが利用しやすい市民の交流の場を提供する。		
評価の詳細(実施内容)	<p>館長企画事業として、7月～8月期に図書館蔵書を積極的に利用した者に「図書館ベストリーダー賞」を贈り、記念品(絵本「オレゴンの旅」)を贈呈した。また、子どもの感性を引き出すワークショップやポップンピットクラブを開催した。</p> <p>「1階カウンター横・展示架」、「2階展示ホール」に展示コーナーを設け、新着図書と様々なテーマを設けて選書した図書を紹介した。</p> <p>読書推進のため「ツキッピー読書通帳」を発行し、希望者に配布した。</p> <p>また、市民の交流の場として、会議室の利用促進に努めた。</p>		
今後の方向性	今後も市民の様々な要望に対応できるよう資料や情報収集、各種展示・講座を開催し、市民が利用しやすい交流の場を提供する。		
			20

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	④文化芸術活動の振興	当年度	B
小項目	(a) 文化芸術活動への支援	前年度	B
目標及び方策	市民により多くの文化芸術活動が行われている。こうした活動が継続的に行われ、豊かな感性と創造性を育むことができるよう支援する。		
評価の詳細(実施内容)	<p>市民文化の向上と文化活動の推進を図るため第53回大月市文化祭、市政施行65周年記念祝賀協賛文化事業を開催するとともに、往年のオーディオシステムの音色鑑賞会、サマーリース作り教室、クワック壁飾り作り教室を開催し、趣味や教養を豊かにする機会の創出に努めた。</p> <p>なお、既存の自主グループの活動発表の機会として第58回大月市生涯学習推進大会にあわせて中央公民館文化教室生徒作品展を市民会館2階ギャラリーにおいて開催予定だったが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。</p>		
今後の方向性	市民による文化芸術活動が展開され、継続されるよう活動機会の提供や各種事業の開催をし、文化芸術活動の振興を支援する。		
			21

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	⑤生涯スポーツの振興	当年度	B
小項目	(a) スポーツ・レクリエーション活動の充実と支援	前年度	B
目標及び方策	だれでも気軽に参加し楽しめる、スポーツ・レクリエーションの普及・振興に努める。		
評価の詳細 (実施内容)	<p>スポーツ活動を通して、健康の保持増進、体力の向上を図ると共に、人と人との交流を深めるスポーツ・レクリエーション活動を推進した。</p> <p>スポーツ育成振興事業として、市民参加の10地区体育会対抗の市体育祭、市民及び県内から多くの選手が参加した駅伝競走大会、並びに市内小学生を対象にした卓球大会を実施し、幅広い年代のスポーツ活動を推進した。</p> <p>また、体育協会加盟団体の協力のもと、弓道教室やバレーボール教室を開催した。</p> <p>各種団体の育成・奨励として、体育協会、スポーツ少年団、小中体連北都留支部へ事業活動費の助成をおこなった。また、個人及びチームとして全国大会等へ出場する選手への旅費等の助成を行った。</p> <p>地域の指導者及びリーダーの育成を担うスポーツ推進委員については、資質の向上を目的に研修を行い、各地区のスポーツ行事等で活躍いただくと共に、大月市健やかスポーツクラブと連携し、子どもから高齢者までの体力維持に努めた。</p>		
今後の方向性	幅広い年代へのスポーツ活動参加促進を、各事業を通して多くの市民へ発信して行く。スポーツが苦手な方にも、親しみや楽しさを感じていただけるような、レクリエーション活動を検討していく。		
			22

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
		当年度	C
中項目	⑤生涯スポーツの振興	前年度	C
小項目	(b) 施設の整備		
目標及び方策	身近にスポーツを親しめる環境づくりとして施設の維持管理に努め、老朽化した施設の改修又は統廃合など、引き続き、適切な施設配置を検討する。		
評価の詳細(実施内容)	<p>各施設とも利用者の安全のための整備に務めた。</p> <p>学校体育施設開放管理事業では、閉校した学校の夜間照明及び体育館の照明の電球交換やトイレの漏水や器具修繕を行った。</p> <p>総合グラウンドでは、テニスの男子トイレに不具合が生じたため、バルブ交換及び詰まり除去の修繕を行った。</p> <p>勤労者体育センターでは、更衣室等の照明器具が故障したため、LED灯に交換修繕を行った。また、昨年度に引き続き、雨漏りの対応について、簡易的な雨樋の修繕対応と定期的な雨樋の清掃を行った。</p> <p>市民総合体育館では、排煙窓と非常用照明の修繕を行い、防災設備機器の機能維持に努めた。また、定期的に職員による雨樋の清掃を行い機能維持に努めた。</p> <p>スポーツ推進審議会を開催し、勤労青年センター及び勤労者体育センターの閉館に向けたスケジュールについて審議をした。利用者のことを第一に考えて進めていただきたいとのご意見をいただき、引き続き、利用者に係る諸問題を解決しながら閉館に向けてスケジュールを進めることを理解いただいた。</p>		
今後の方向性	<p>施設の老朽化が進んでおり、修繕が必要な施設が増える一方で、依然として修繕予算の確保は難しく、早急な修繕対応が必要な施設の順位を検討しながら対応しており、規模の大きな修繕については、長期的な計画対応も検討する。</p> <p>また、勤労青年センター及び勤労者体育センターについては、スポーツ推進審議会の結果を踏まえ、協議を進めて行く。</p>		

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	⑥歴史と文化遺産の継承	当年度	A
小項目	(a)文化財の保存・保護及び活用	前年度	A
目標及び方策	文化財の保存と活用を通して先人が積み重ねてきた歴史を守り、継承していきながら地域文化の創造に寄与し、文化財保護思想の高揚を図る。		
評価の詳細(実施内容)	重要文化財星野家住宅では、所有者の維持管理の負担を軽減するため補助制度を活用し、防災設備を設置し、文化財の保護に努めた。文化財防火デーとして、大月消防署と連携し、星野家住宅防火設備の点検を実施した。 郷土の歴史探検ツアーを開催し、郷土の歴史や文化財について説明し、郷土の良さを再発見する機会の提供を行った。 大月市出前講座の文化財について大月短大、ことぶき勸学院、老人クラブ、小中学校、公民館事業などから申請があり、延18回開催した。		
今後の方向性	計画的に文化財の保存・保護につとめ、文化財を活用した事業を開催し、市民が文化財に親しみやすい環境づくりに努める。		
			24

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	⑥歴史と文化遺産の継承	当年度	B
小項目	(b)伝統行事の保存と継承支援	前年度	B
目標及び方策	地域に残る伝統芸能・祭事のほか、伝統的な行事の継承・保存をしていくため後継者の育成に向けた活動などを支援する。		
評価の詳細(実施内容)	大月市放課後子どもプランにおいて、笹子追分人形クラブによる笹子追分人形芝居の継承保存をしていくため、後継者育成活動の支援を行った。 各地区育成会による地域のどんど焼き、地域に残る祭事への子どもの参加、並びに公民館活動による伝統舞踊の継承事業の実施について助成を行った。		
今後の方向性	地域で継承されている伝統芸能・祭事・行事が継承・保存されるよう発表の場の提供と支援を継続する。		
			25